Ⅳ　減損会計関係

１．減損を認識した資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：円）

| 用途 | 種類 | 場所 | 帳簿価額 |
|---|---|---|---|
| 職員宿舎 | 土地<br>建物<br>建物附属設備<br>構築物 | 奈良教育大学<br>法蓮団地（宿舎一）<br>（奈良県奈良市法蓮町1416―10） | 22,640,234<br>1<br>4<br>6 |

⑵　減損の認識に至った経緯

職員宿舎は、本学の教職員の福利厚生に資する役割を有しているが、老朽化や耐震性能が劣ることから法蓮団地（宿舎一）は令和６年３月31日に廃止し、土地の有効活用を図ることを令和６年３月29日に決定しました。

なお、廃止後の土地等については、今後の有効活用方策を検討している段階です。

⑶　減損額のうち、損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳　（単位：円）

| 用途 | 種類 | 損益計算書に計上した金額 | 損益計算書に計上していない金額 |
|---|---|---|---|
| 職員宿舎 | 土地<br>構築物 | | ―<br>― |

⑷　回収可能サービス価額の算定方法

土地の回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は固定資産税評価額から算定した価額を使用しています。

２．減損の兆候が認められた資産

⑴　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要　（単位：円）

| 用途 | 種類 | 場所 | 帳簿価額 |
|---|---|---|---|
| 職員宿舎 | 土地<br>建物<br>建物附属設備<br>構築物 | 奈良教育大学<br>職員宿舎（吉城宿舎）<br>（奈良市西笹鉾町42―３） | 200,000,000<br>2,013,799<br>370,434<br>1,329,492 |
| 職員宿舎 | 土地<br>建物<br>建物附属設備<br>構築物 | 奈良国立大学機構<br>職員宿舎（紀寺宿舎）<br>（奈良市東紀寺町３―３） | 430,450,000<br>1,687,082<br>3,492,234<br>54 |

⑵　使用しなくなる日

令和９年５月31日

⑶　使用しないという決定を行った経緯及び理由

職員宿舎は、本学の教職員の福利厚生に資する役割を有しているが、老朽化や耐震性能が劣ることから、吉城宿舎・紀寺宿舎については、令和９年５月31日に廃止し、職員宿舎の土地の有効活用を図ることを令和６年３月29日に決定しました。

廃止するまでは、引き続き職員宿舎として維持管理を行うこととなるため、減損の認識には至っていません。

なお、廃止後の土地等については、今後の有効活用方策を検討している段階です。

⑷　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

令和９年５月31日に廃止する時点で帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額を算出することができます。

Ⅴ　金融商品関係

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定しています。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、公債及び社債を保有しており株式等は保有していません。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

なお、現金は注記を省略しており、預金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しています。

（単位：円）

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|---|---|---|---|
| ⑴　投資有価証券<br>満期保有目的債券 | 120,075,840 | 118,717,000 | △　1,358,840 |

㈱　時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しています。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しています。

有価証券及び投資有価証券

国債及び社債は相場価格を用いて評価しています。これらは活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１の時価に分類しています。

Ⅵ　賃貸等不動産関係

１．賃貸等不動産の時価等に関する事項

当法人は紀寺地区、上高畑地区、半田地区、北小路地区及び法蓮地区に寄宿舎等を有しています。これらの賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりです。

（単位：円）

| 貸借対照表計上額 | | | 当期末の時価 |
|---|---|---|---|
| 当期首残高 | 当期増減額 | 当期末残高 | |
| 2,717,358,658 | △　58,266,386 | 2,659,092,272 | 2,801,155,913 |